

第 6 章

道路建設課 道路維持課



(平成4年10月開通、国道105号鷹巣バイパス)

- 第 1 節 道路事業の概要
- 第 2 節 道路建設課
- 第 3 節 道路維持課

第1節 道路事業の概要

1. 道路の概要

本県は、東京都・埼玉県・千葉県を合わせた面積を更に上回る総面積 11,612.9km²、南北 181km、東西 111kmの大県で、県境を奥羽山脈と那須火山帯が縦走し、また南北を分断する形で出羽山地があり、可住地面積割合も 26.6%と全国 32%に比べ下回っている。

このような地域特性から、県内の道路は主に日本海沿いの秋田平野、雄物川沿いの横手盆地また米代川沿いの大館鷹巣盆地・能代平野に集中しており、山地部においてはその地形的障害から道路そのものが少なく、道路網密度は全国都道府県中 45 位ときわめて低い状況にある。

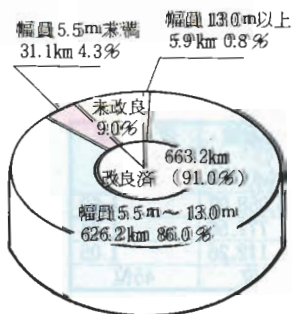
しかしながら多極分散型の国土を形成するための根幹となる東北縦貫自動車道弘前線が、昭和 61 年 7 月に県北部を全通し、ようやく本県も高速時代を迎えた。さらに平成 3 年 7 月 25 日には、県都秋田市に乗り入れる県民待望の東北横断自動車道釜石秋田線、秋田横手間 56.1kmが開通し、平成 3 年度からスタートした新総合発展計画では、交通体系の整備を最重点に掲げ実施している。

(1) 道路の現況

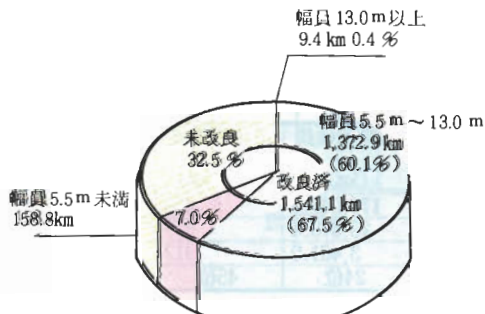
①改良済・未改良別延長

(道路統計年報1992)

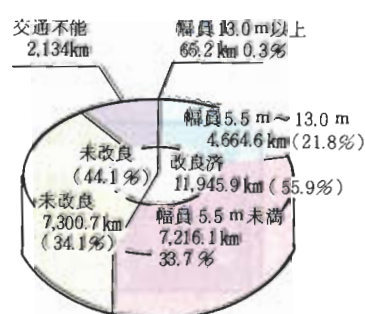
道路区分	幅員実延長(km)	改 良 済				未 改 良			
		13.0m以上	5.5m以上 ~13.0m	小 計	5.5m未満	計	未改良延長	内自動車交通不能	
高速自動車国道	41.8	41.8	—	41.8	—	41.8	—	—	
国 道	指定区間	388.8	27.5	361.3	388.8	—	388.8	—	
	指定区間外	728.4	5.9	626.2	632.1	31.1	663.2	65.2	
道 合 計	1,117.2	33.4	987.5	1,020.9	31.1	1,052.0	65.2	—	
県 道	主要地方道	1,053.3	7.5	693.7	701.2	76.1	777.3	276.0	35.9
	一般県道	1,230.5	1.9	679.2	681.1	92.7	763.8	466.7	27.5
道 合 計	2,283.8	9.4	1,372.9	1,382.3	158.8	1,541.1	742.7	63.4	
国・県道計	3,401.0	42.8	2,360.4	2,403.2	189.9	2,593.1	807.9	63.4	
市 町 村 道	17,890.4	22.4	2,304.2	2,326.6	7,026.2	9,352.8	8,627.6	2,071.4	
道 合 計	21,381.4	65.2	4,664.6	4,729.8	7,216.0	11,945.9	9,435.5	2,134.8	
総 合 計	21,432.2	107.0	4,664.6	4,771.6	7,216.1	11,987.7	9,435.5	2,134.8	



一般国道 (指定区間外)



都道府県道

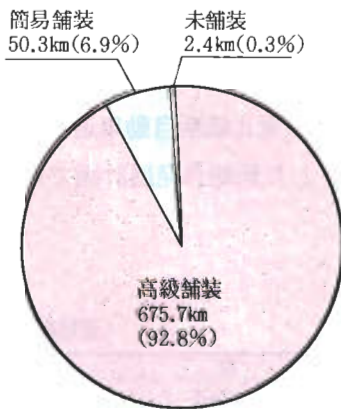


一般道路合計

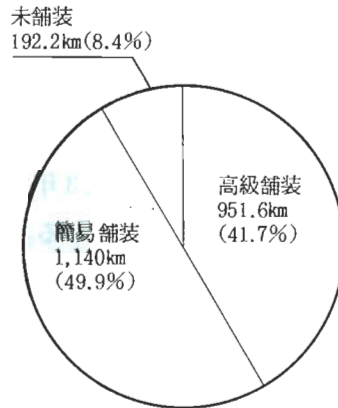
②路面種別・構造種類別延長

(道路統計年報1992)

道路区分	幅員 実延長 (km)	路面別延長(km)			種類別延長(km)			
		高級舗装	簡易舗装	未舗装	土工延長	橋梁延長	トンネル 延長	
高速自動車道	41.8	41.8			32.7	3.9	5.2	
一般国道	指定区間	388.8	388.8			370.5	11.8	6.5
	指定区間外	728.4	675.7	50.3	2.4	697.2	21.8	9.4
	合計	1,117.2	1,064.5	50.3	2.4	1,067.7	33.6	15.9
	主要地方道	1,053.3	553.7	439.0	60.6	1,034.9	16.9	1.5
	一般県道	1,230.5	397.9	701.0	131.6	1,209.5	20.4	0.6
	合計	2,283.8	951.6	1,140.0	192.2	2,244.4	37.3	2.1
国・県道計	3,401.0	2,016.1	1,190.3	194.6	3,312.1	70.9	18.0	
市町村道	17,980.4	1,114.0	7,844.1	9,022.3	17,874.7	101.4	4.3	
合計	21,381.4	3,130.1	9,034.4	9,216.9	21,186.8	172.3	22.3	
総合計	21,423.2	3,171.9	9,034.4	12,206.3	21,219.5	176.2	27.5	



一般国道 (指定区間外)



都道府県道

③ 道路普及率

本県の道路整備の現状は、国県道においては改良率・舗装率・整備率とも全国平均を上回っているが、市町村道も含めた県全体の舗装率は全国47都道府県中40位、また道路網密度も45位と大幅に下回っている。このため、都市内の交通渋滞や地方部ではすれちがいができないなど、量・質的にもまだまだ満足できる状況ではない。

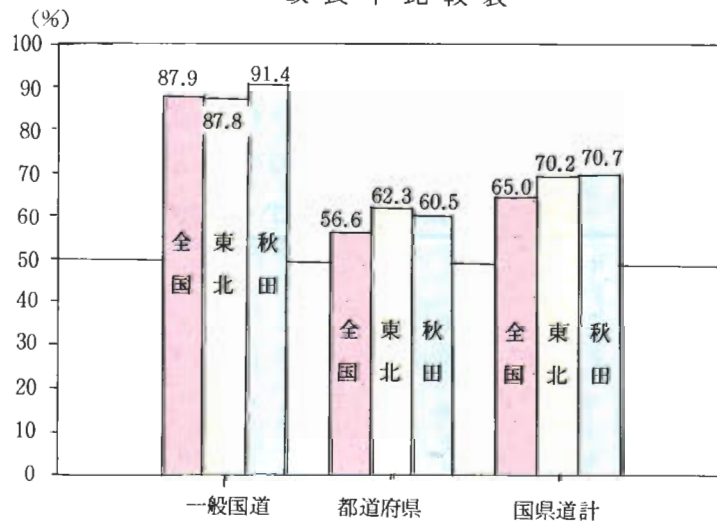
道路普及率比較表 (道路統計年報1992)

ブロック別	面積 A (km ²)	総人口 B (千人)	国県道延長 C (km)	道路網密度 C/A (m/km ²)	千人当り道路延長 C/B (km)	道路面積 D (km ²)	道路率 D/A (%)
全国	377,727	124,043	176,040.3	466	1.42	6,058.07	1.60
東北	62,809	9,744	23,673.4	377	2.43	777.56	1.24
秋田県	10,726	1,223	3,401.0	317	2.78	112.26	1.05
都道府県順位	6位	35位	24位	45位	7位	24位	45位

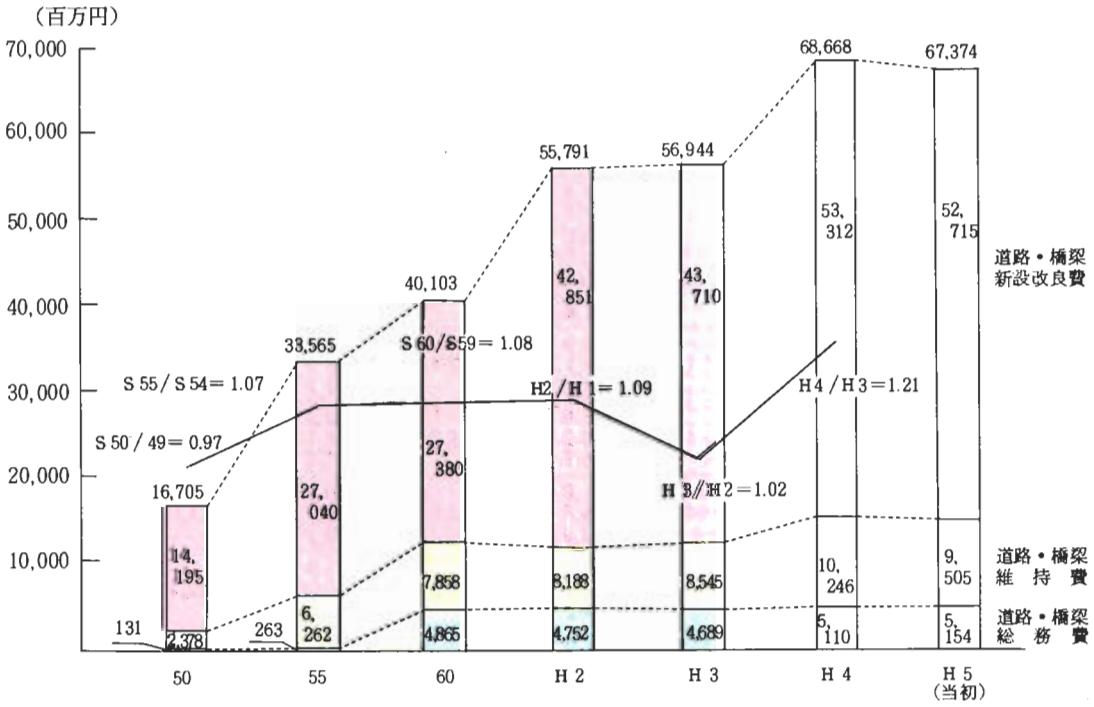
④ 道路改良率・舗装率・整備率比較表（東北道路ポケットブック1992）

道路区分		全 国		東 北		秋 田	
		実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率	実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率	実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率
一般国道	指定区間	20,651.6	99.6 98.3 51.0	2,552.4	99.9 100.0 45.8	388.8	100.0 100.0 50.6
	指定区間外	26,348.4	78.7 79.4 57.9	4,888.6	81.5 77.8 71.4	728.4	86.8 92.8 72.9
	小 計	47,000.0	87.9 87.7 54.9	7,441.0	87.8 85.4 62.7	1,117.2	91.4 95.3 65.1
都道府県道	主要地方道	50,388.3	67.1 61.1 51.8	6,868.6	74.4 59.1 66.1	1,053.3	66.6 52.6 61.0
	一般県道	78,652.1	49.9 40.1 43.4	9,682.4	53.7 38.0 51.2	1,230.5	55.4 32.3 54.2
	小 計	129,040.4	56.6 48.3 46.7	16,551.0	62.3 46.7 57.4	3,401.0	70.7 59.3 59.9
国・県道計		176,040.4	65.0 58.8 48.9	23,992.0	70.2 58.7 59.1	3,401.0	70.7 59.3 59.9
市町村道		939,551.7	44.2 15.1 44.2	120,413.5	45.9 8.1 41.3	17,980.4	52.0 6.2 52.0
合 計		1,115,592.1	47.5 22.0 45.0	144,405.5	49.9 16.5 48.1	21,381.4	55.0 14.6 53.3

改良率比較表



2. 道路事業費の推移



第 2 節 道 路 建 設 課

1. 事務分掌（道路建設課）

	区 分	事 務 分 掌	人員	備考
道 路 建 設 課	総務担当	1. 人事、各季団体、議会に関すること 2. 予算、決算、監査、公共事業再配当に関すること 3. 給与、旅費、文書、工事経理、収支計画 4. 各種協定、調査 5. 課内の連絡調整に関すること	5	
	企画担当	1. 調査、議会、企画調整に関すること 2. 広報、公聴、陳情等の処理 3. 道路整備計画、協議会関係の調整に関すること	4	
	高速道路担当	1. 高速自動車の整備に関すること	3	
	国道担当	1. 国道改良・特一・舗装新設 2. 国道橋梁整備 3. 国道県単橋梁・舗装	3	(8)
	地方道担当	1. 地方道改良・特一・舗装新設・橋梁整備 2. 県単橋梁・舗装 3. 緊急地方道・石油備蓄交付金 4. ふるさとづくり事業 5. 地方特定・生活圏30分形成道路	4	

2. 道路建設の基本理念

① 道路整備の方針

平成5年度における道路の整備方針については、第11次道路整備5箇年計画（総投資額76兆円）の初年度として、国の3つの主要課題

(1) 生活者の豊かさを支える道路整備の推進

- 1) 暮らしの利便性向上のための道路整備の推進
- 2) “ 安全性向上 “
- 3) “ 快適性向上 “

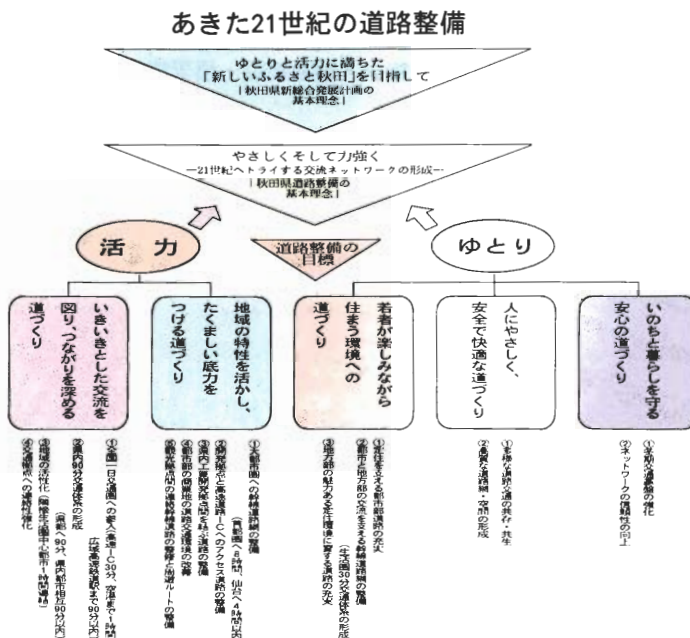
(2) 活力ある地域づくりのための道路整備の推進

- 1) 交流ネットワークの充実
- 2) 地域集積圏の民成
- 3) 住宅宅地の供給とそれを支える道路整備

(3) 良好な環境創造のための道路整備の推進

- 1) 地球温暖化の防止
- 2) 自然環境との調和
- 3) 良好な生活環境の保全・形成

を踏まえて、本県の特性を考慮しながら次の基本方針を基にして積極的にその整備を図ることとしている。



第11次道路整備5箇年計画(H5～H9)における県内道路整備計画

- ① いきいきとした交流を図り、つながりを深める道づくり ④ 人にやさしく、婦全で快適な道づくり

区分	番号	路線	箇所
供用	①	東北横断自動車道釜石秋田線	北上JCT～横手
	②	東北横断自動車道釜石秋田線	秋田南～秋田北
完成供用	③	一般国道7号	秋田外環状道路
	④	(一)上新城土崎港線	外旭川工区
部分供用	⑤	(市)御成町沼館線	清水工区(大館市)
	⑥	一般国道13号	湯沢横手道路
整備促進	⑦	日本海沿岸東北自動車道	岩城～河辺
	⑧	日本海沿岸東北自動車道	昭和～琴丘
	⑨	一般国道7号	琴丘能代道路
	⑩	一般国道7号	大館西道路
	⑪	一般国道105号	米内沢バイパス
	⑫	一般国道285号	山内バイパス
整備着手	⑬	(主)秋田雄和本荘線	田代峠工区
	⑭	(一)木戸石鷹巣線	大野台工区
	⑮	(主)秋田雄和本荘線	相川工区
	⑯	都 大浜上新城線	飯島工区

区分	番号	路線	箇所
全線供用	1	一般国道7号	ニツ井バイパス
	2	一般国道13号	大曲バイパス
完成供用	3	一般国道103号	大館南バイパス
	4	(主)湯沢栗駒公園線	三途川工区
	5	(主)田沢湖西木線	石神工区
	6	都 中央線・駅北線	角館駅前
	7	都 横手環状線	中央第一地区
整備促進	8	一般国道13号	刈所野バイパス
	9	区 大曲駅前第二地区	大曲駅前
整備着手	10	一般国道13号	神宮寺バイパス
	11	都 川尻橋南線	寺町(秋田市)

- ② 地域の特性を活かし、たくましい底力をつける道づくり ⑤ いのちと暮らしを守る安心の道づくり

区分	番号	路線	箇所
完成供用	①	一般国道101号	八森町(道の駅)
	②	一般国道107号	兼庄町(道の駅)
	③	(主)ニツ井森吉線	七座橋
	④	(主)本荘西目線	葛法工区
	⑤	(主)秋田八郎潟線	山内工区
	⑥	(市)中町裏町線	大町地区(大館市)
整備促進	⑦	都 通り町線	駐車場案内システム
	⑧	一般国道7号	秋田南バイパス
	⑨	一般国道341号	鈴畑広幅
	⑩	(市)仁別木曾石線	太平工区(秋田市)
	⑪	(一)福館阿仁前田線	仏社工区
整備着手	⑫	都 横山金足線	狩野野～飯島
	⑬	一般国道103号	赤川広幅
	⑭	(市)大野台幹線	下杉工区(合川町)
	⑮	都 花輪尾去沢線	舟地2区(鹿角市)

区分	番号	路線	箇所
完成供用	①	一般国道108号	鬼首道路
	②	一般国道107号	館(流雪渡)
	③	一般国道108号	松の木道路
	④	(主)大館十和田湖線	有町区(津田町)
	⑤	(一)湯本加茂船川港線	立島工区(栗駒町)
整備促進	⑥	都 寺町線	須和南(大館市)
	⑦	一般国道398号線	大高道路
	⑧	(主)象刺矢島線	長坂工区

- ③ 若者が楽しみながら住まう環境への道づくり

区分	番号	路線	箇所
完成供用	▲	一般国道101号	柳町広幅
	▲	一般国道107号	奥ヶ沢バイパス
	▲	(主)柳坂坂部橋渡線	坂部、岩倉工区
	▲	(主)秋田男鹿線	飯島工区
整備促進	▲	都 南部中央線	御野場ニュータウン
	▲	(主)秋田昭和線	手形工区
	▲	都 山田線	小豆島(湯沢市)
整備着手	▲	区 秋田駅東第三地区	
	▲	(主)仁賀保矢島館合線	院内工区
	▲	都 駅港湾線	仁賀保駅前
	▲	区 秋田駅西地区	
	▲	区 御成長南地区	(大館市)

3. 高速交通体系に応じた道路網の整備

秋田県の高規格道路

東北縦貫自動車道弘前線 練馬区～青森市 698km			
	区 間	進 捗 状 況	延 長 (km)
県内延長 41.9km	安代IC～鹿角八幡平IC	S58. 10. 20開通	26.1
	鹿角八幡平IC～十和田IC	S59. 9. 27開通	11.9
	十和田IC～碓ヶ関IC	S61. 7. 30開通	28.1
東北横断自動車道釜石秋田線 釜石市～秋田市 213km			
	区 間	進 捗 状 況	延 長 (km)
県内延長 99.0km	横手IC～秋田南IC	H 3. 7. 25開通	56.1
	横手IC～北上JCT	工事中	50.5
	秋田南IC～秋田北IC	工事中	16.1
秋田外環状道路 (建設省施工)		事業中	9.7
日本海沿岸東北自動車道 新潟市～青森市 約340km			
	区 間	進 捗 状 況	延 長 (km)
県内延長 約180km	岩城IC～河辺JCT	整備計画区間	17.0
	琴丘IC～昭和IC	整備計画区間	21.0
	象潟IC～岩城IC	基本計画区間	46.0
	象潟～県境	予定路線	10.0
	大館～小坂	基本計画区間	14.0
	能代～大館	予定路線	49.0
大館西道路 (建設省施工)		事業中	6.2
琴丘能代道路 (建設省施工)		事業中 (能代八竜町4.2km 開通H 5. 3. 17)	17.1
東北中央自動車道 相馬市～横手市 約260km			
	区 間	進 捗 状 況	延 長 (km)
県内延長 約40km	横手JCT～梶境	予定路線	40.0
	湯沢横手道贈 (建設省施工)	事業中	29.0

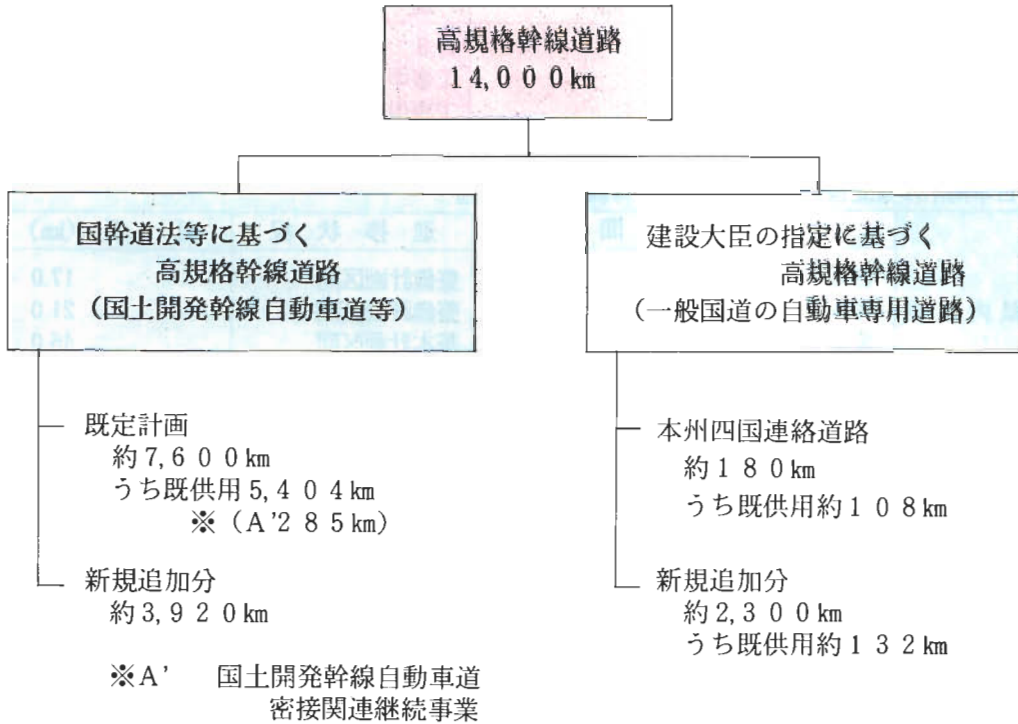
東北横断自動車道釜石秋田線 横手IC付近



高規格幹線道路網計画

昭和62年6月26日の道路審議会答申に基づき、建設大臣により高規格幹線道路網計画が決定されました。(昭和62年6月30日)

高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路をいいます。(既定の国土開発幹線自動車道等及び本州四国連絡道路は高規格幹線道路網の一部をなすものです)



国土開発幹線自動車道密接関連継続事業とは

国土開発幹線自動車道に並行する一般国道の自動車専用道路として建設省が施工しているもので、将来高規格幹線道路網に組み入れられる予定の道路です。

秋田県内では以下の事業が行われています。

大館西道路	L = 6.2km
琴丘能代道路	L = 17.1km
秋田外環状道路	L = 9.7km
湯沢横手道路	L = 29.0km

建設手順

予 定 路 線

国土開発幹線
自動車道建設
審 議 会
基本計画の決定

基本計画	
1.	建設線の区間
2.	建設線の主たる経過地
3.	標準車線数
4.	設計速度
5.	道路等との連結地
6.	建設主体

環境影響評価

基本計画が決定されると、これに付って技術調査、環境影響評価等を行い、他の公共事業や地域開発計画とも調整をはかるなど、調整計画の策定に必要な調査を進める。

国土開発幹線
自動車道建設
審 議 会
整備計画の決定

整備計画	
1.	経過する市町村名
2.	車線数
3.	設計速度
4.	連結位置及び連結予定施設
5.	工事に要する費用の概算額
6.	その他必要な事項

施行命令
(日本道路公団)

整備計画が決定されると日本道路公団に対して調査の指示が出され、公団は地形、地質、気象、水利、経済、環境、文化財、関連公共事業、用地など施行に必要な調査を進める。その調査が完了した後、建設大臣から公団に対して施行命令が出される。

実施計画

公団は施行に必要な工事実施計画書を作成して建設大臣に提出する。建設大臣は、工事実施計画書を審査のうえ認可する。

路線発表

路線発表を行ったあと事業説明を行う。

中心杭設置

測量を行い中心杭を現地に設置する。

設計協議

高速道路の構造のうち、地元の利害関係の大きい横断する道路や水路の構造、流末処置、付け替え道路や側道などについて管理者や地元と協議を行う。

幅杭設置

設計協議が終わると用地境に杭を設置して用地測量を行う。

用地買収

工 事

供 用

高速交通関連道路整備事業

高規格幹線道路の利便性を高めるため、インターチェンジと一般市街地を結ぶアクセス道路を整備するもので、現在5路線が事業中である。

高速交通関連道路計画箇所表

関連事業名	路線名	位置		全体計画		工期
		市町村	字名	延長(m)	幅員(m)	
(完成路線)						
湯沢横手道路	一 金沢吉田柳田	横手	柳田	3,000	6.0(16.0)	S61~H4
東北横断自動車道	主 大曲大森羽後	大曲	内小友	2,050	6.0(11.0)	S61~H3
	主 神岡坂部横渡	南外	山王岱	1,000	6.0(11.0)	S63~H2
秋田空港	一 和田御所野	河辺	七曲	2,000	6.5(16.0)	S56~H2
	主 河辺雄和	河辺	川原田	880	6.0(11.0)	S58~S61
東北縦貫自動車道	主 大館十和田湖	小坂	中小坂	1,650	6.5(12.0)	S60~H2
日本海沿岸東北自動車道	一 向浜牛島	秋田	向浜	3,960	6.5(26.0)	S59~S61
	主 男鹿八竜	男鹿	船越	4,911	7.0(26.0)	S57~H1
小計				19,451		
(事業中の路線)						
東北横断自動車道	一 秋田駅東中央	秋田	下北手	3,400	13.0(26.0 ~43.0)	S61~H7
	一 外旭川上新城	秋田	外旭川	3,500	13.0(26.0)	S60~H7
秋田外環状道路	主 秋田昭和	秋田	金足	3,500	6.0(11.0)	S63~H6
	一 男鹿昭和飯田川	昭和	大久保	5,500	14.0(27.0)	H3~H9
湯沢横手道路	主 湯沢雄物川大曲	湯沢	森	2,200	6.1(11.0)	H1~H7
小計				20,660		
(将来構想)						
秋田外環状道路	主 秋田男鹿	秋田	飯島	3,800	13.0(26.0)	
琴丘能代道路	主 琴丘上小阿仁	琴丘	鹿渡	1,000	6.0(13.0)	
日本海沿岸東北自動車道	主 秋田八郎潟	八郎潟	川崎	2,500	6.0(13.0)	
	主 雄和岩城	岩城	道川	1,000	6.0(13.0)	
小計				8,300		
合計				48,411		

大館十和田湖線 小坂IC付近



秋田駅東中央線

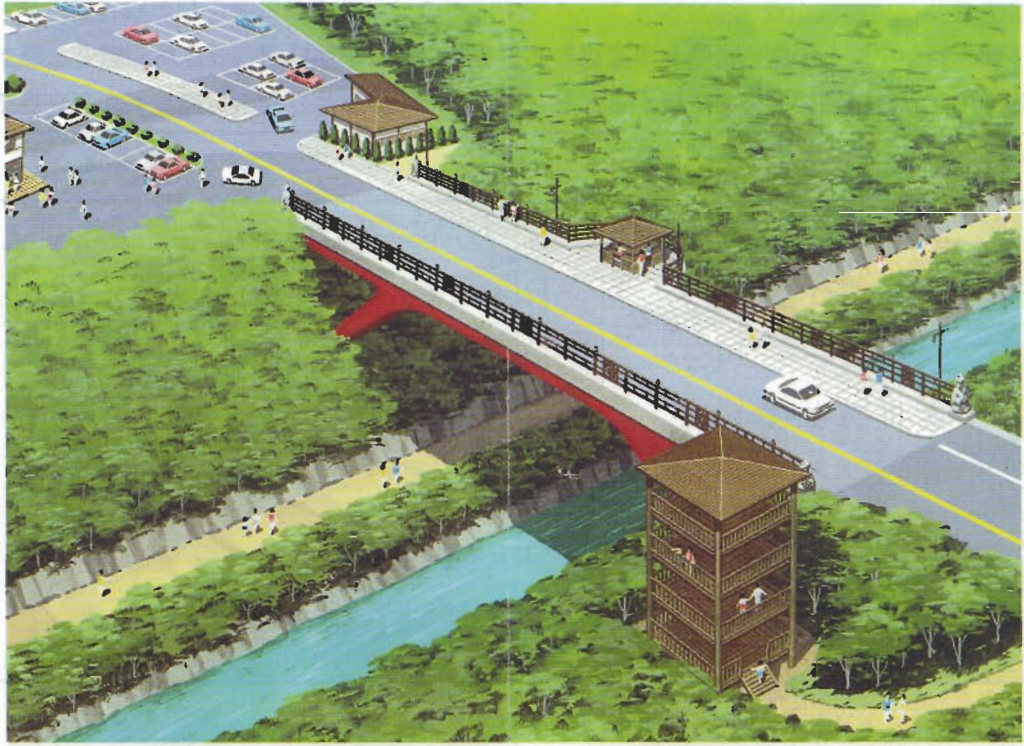


4. マイロード事業

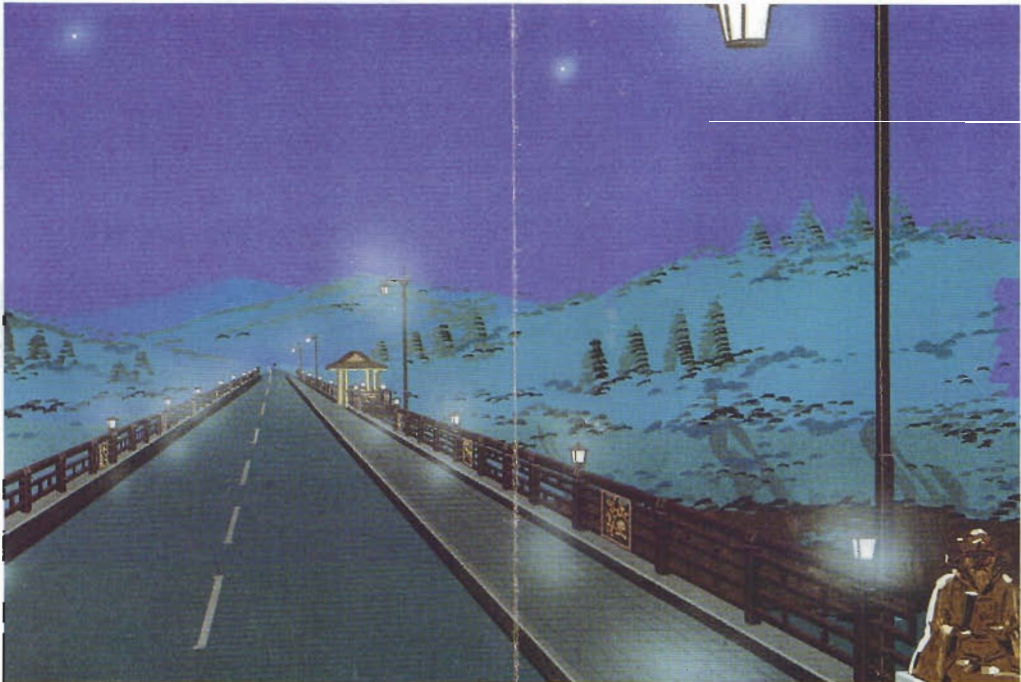
建設省が平成2年度に提唱し事業化しているもので、「地域固有の自然、歴史、風土等を生かした地域振興策を支援するとともに、独創的な道路の創出を図る」ことを目標としている。

No.	路線名	実施箇所	テーマ・デザインコンセプト	年度
1	秋田岩見船岡線	秋田市手形 手形陸橋	秋田藩の歴史を伝える道路整備	H2
2	秋田男鹿線	天王町蒲沼 天王 グリーンランド	水と緑のふるさとの夢と神話を伝える道路整備	H3～H4
3	湯沢栗駒公園線	湯沢市高松 三途川橋	「羽川・王朝街道」 神話を伝える道路整備	H4～H5
4	二ツ井森吉線	二ツ井町天神 七座橋	「テンジンロード」 まほろばの道	H5予定

三途川橋周辺の整備計画パース



三途川橋夜景パース



5. 事例紹介

① 国道103号(大館南BP—「山王岱橋」)〔表紙写真参照〕

大館市餌釣地内

橋梁諸元：橋長 $L=240\text{m}$

幅員 $W=14.0\text{m}$ (25.0m) (上り及び下りのランプ有)

構造形式 上部工 連続钣桁 (2径間+3径間+2径間 計3連)

下部工 逆T式橋台 (直接及び鋼管杭基礎)、
ラーメン式及び張出式橋脚 (")

事業費 $C=2,763$ 百万円

工事 H元~H5 (年度)

5年度完成予定

② 国道108号(松の木道路—「松の木7号橋」)

雄勝郡雄勝町院内地内

橋梁諸元：橋長 $L=210\text{m}$

幅員 $W=6.5\text{m}$ (8.5m)

構造形式 上部工 5径間連続波形鋼ウェブPC箱桁

下部工 逆T式橋台 (直接基礎)、
壁式 (深礎杭基礎) 橋脚

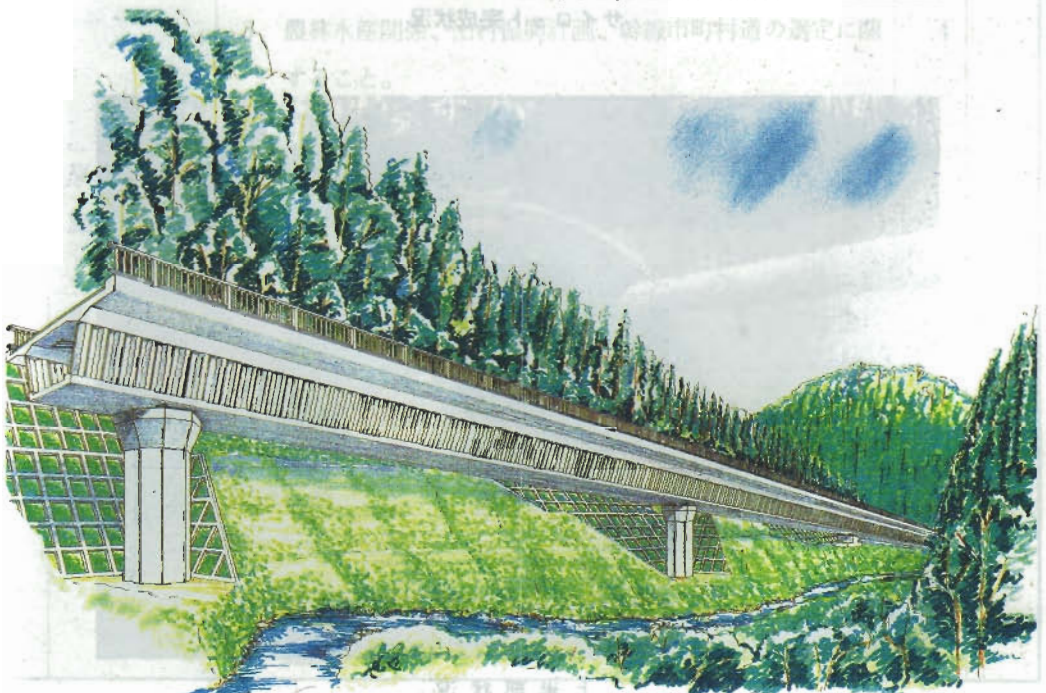
事業費 $C=844$ 百万円

工事 H4~H7 (年度)

5年度下部工完成予定

〔今年度下部工に着手する松の木7号のパス〕

松の木7号橋 (仮称)



③ 主要地方道秋田昭和線（手形Ⅰ区——「手形トンネル」）

秋田市手形地内

トンネル諸元：延長 L=276m

幅員 W=6.5m（12.5m）両側に歩道有り

掘進方式 サイロット（側壁導坑先進）方式によるNATM工法

事業費 C=1,660百万円

工事 H4～H6（年度）



サイロット完成状況



上半部状況

第3節 道路維持課

1. 事務分掌（道路維持課）

	区 分	事 務 分 掌	人員	備考
道 路 建 設 課	総務担当	1. 人事、各種団体、議会に関すること 2. 予算、決算、監査、公共事業再配当に関すること 3. 給与、旅費、文書、工事経理、収支計画 4. 各種協定、調査 5. 課内の連絡調整に関すること	3	
	路政担当	1. 道路法、有線、道路保険、訴訟に関すること 2. 路線の認定・廃止・変更に関すること 3. 道路の区域の決定・変更に関すること 4. 占用許可、車両制限に関すること 5. 道路台帳、各種調査に関すること	3	
	市町村道担当	1. 市町村道事業の指導 2. 県代行、一般補助、交付金事業 3. 農林水産関係、山村振興計画、幹線市町村道の選定に関すること。 4. 市町村道元凶調査、奥産・水特関連事業	4	
	交通安全施設担当	1. 交通安全施設整備、大規模自転車道整備 2. 地方特定道路整修、電線地中化事業 3. ミニ新幹線踏切安全対策、道の駅事業	3	
	維持・防災担当	1. 舗装補係・橋梁補修・簡易舗装改築 2. 道路災害防除、道路災害復旧 3. 緊急地方道、地方特作道路 4. 側溝整備、橋梁維持修繕、鋼体橋再塗装	2	
	防雪施設担当	1. 除雪・消融雪施設整備 2. 雪寒地域道路整備、緊急地方道路整備 3. 地方特定道路整備 4. 建設機械整備	2	(5)

2. 市町村道事業

本県の市町村道は、平成4年度現在延長18,098kmで内改良済延長9,610km（改良率53.1%）、舗装済延長9,259km（舗装率51.1%）となっており、生活に密着した道路でありながらその整備は大きく立ち遅れている。

このことから、幹線市町村道を対象に国庫補助事業として重点的に整備を実施し、生活圏の形成を推進している。

又、これらの内から、過疎化防止、特豪地域の交通確保、山村及び半島地域の振興という各立法主旨を踏まえて、地域の幹線網を形成する主要な路線や広域プロジェクトに関連した路線などは県による代行事業を実施している。

平成5年度事業

○一般補助事業

- ◇豊岩仁井田線（改良）
- ◇旭町中島線（改良）
- ◇中村善知鳥線（"）
- ◇泉沢橋（橋梁整備）
- ◇川口二十六木線（舗装新設）
- ◇大野台線（雪寒）
- ◇今宿福地中央線（交付金A）
- ◇停車場線（交付金B）
- ◇野田尻高線（交付金雪寒）

等 137箇所 9,058百万円

○県代行事業

- ◇市役所東町線（改良）
- ◇ぶな森線（改良）
- ◇ブナ森線（"）
- ◇生内3号橋（橋梁整備）
- ◇清水小屋橋（橋梁整備）

等 12箇所 2,257百万円



県代行事業

- （◇ブナ森線
ブナ森8号橋）

3. 大規模自転車道整備事業

自転車利用の増大に対処して、自転車交通の安全を確保し合わせて心身の健全な発達を資することを目的として、昭和48年度より大規模な整備を図ってきた自転車道整備事業です。

完成済自転車道

【雄和仁別自転車道】

雄和町の黒瀬橋から仁別国民の森に至る総延長35.4kmの自転車道で、昭和52年に完成しました。

【秋田河辺雄和自転車道】

秋田市四ツ小屋から雄和町椿川に至る総延長27.6kmの自転車道で、昭和59年に完成しました。

現在事業中の自転車道

【秋田男鹿自転車道】

秋田市山王二丁目を起点とし港湾公園、出戸浜海水浴場、天王町を経て男鹿市の船川に至る総延長38kmの自転車道で、昭和63年に着工し平成7年度完成を目指して現在継続事業中です。

【秋田男鹿自転車道】



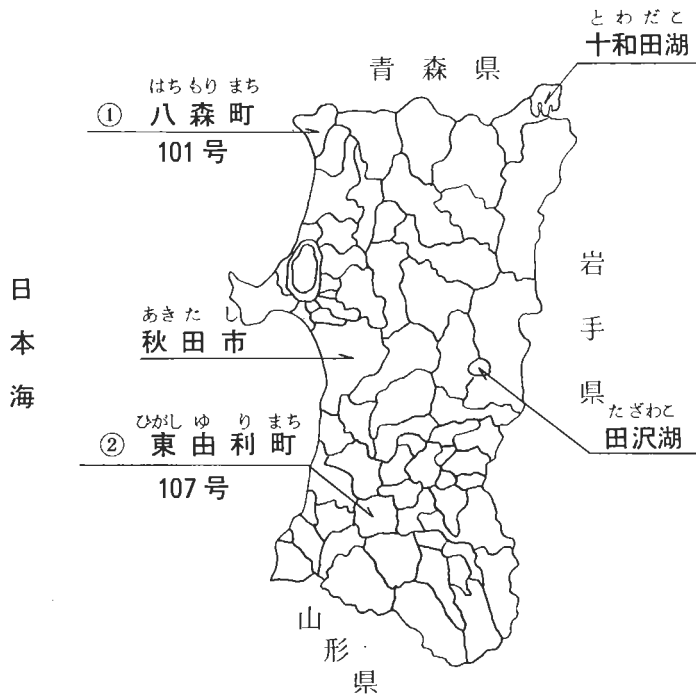
4. 特定交通安全施設整備事業

【二種事業 簡易パーキング】

道の駅

夜間運転、過労運転による交通事故防止を目的として、道路管理者が整備する駐車スペースと市町村などが設ける各種の地域振興施設とを一体的に整備し、ドライバーへのサービスの高度化、密度の濃い地域情報の提供等を行うべく【道の駅】として特定交通安全施設等整備事業により、平成4年度から以下の2箇所において整備している。

箇所位置図



① 路線名 一般国道 101 号

駐車場名 お殿水パーキングエリア

箇所 秋田県山本郡八森町岩館

概要 国道 101 号は、秋田県能代市と青森県深浦町を結ぶ（約 6.6km）秋田県北部を南北に縦断する主要な幹線道路である。

当計画箇所は、能代市と深浦町のほぼ中間点にあたり、男性的な魅力に溢れる日本海が一望できると共に、古来から伝わる通称「お殿水」の湧きでる地点でもある。八森町が計画中の地元特産品の展示・即売所や観光案内所を備えた資料館等と隣接して計画する。

事業主体	秋 田 県
事業年度	H4 ～ H6
収容台数	25 台
うち大型車	5 台
全 体 面 積 (うち駐車・休憩スペース)	4,123 m ² (2,050 m ²)

お殿水 パース



② 路線名 一般国道 107 号

駐車場名 老方パーキングエリア

箇所 秋田県由利郡東由利町老方

概要 国道 107 号は本荘市と横手市を結ぶ(約 55km) 秋田県下を東西に横断する主要な幹線道路である。又、秋田県と岩手県を結ぶ重要なルートでもある。

当計画箇所は、本荘市と横手市のほぼ中間点にあたり、緑豊かな田園に囲まれ、東北を代表する秀麗なる「烏海山」と地元のシンボル「八塩山」が眺望できる。又、東由利町が計画している地元物産品の展示・即売所や観光案内所を備えた農村交流館等と隣接して計画する。

事業主体	秋田県
事業年度	H4～H6
収容台数	50台
うち大型車	18台
全体面積 (うち駐車・休憩スペース)	8,530㎡ (4,870㎡)

老方 パース



5. 道路の雪対策事業

本県は、全域が積雪寒冷特別地域となっており、そのうち 24 市町村が特別豪雪地帯に指定されるなど、冬期には日本海側特有の厳しい気象条件となっております。

このため、日常生活、産業活動等いろいろな面で制約がしいられ地域発展に支障をきたしているのが現状であり、これを克服し地域住民の生活安定や産業活動の振興をはかるためには、冬期交通確保の充実が不可欠であります。

道路除雪の効率化をはかり、消融雪施設や雪崩、地吹雪対策のための施設整備を促進するとともに、冬期における歩行者空間を確保するため、歩道除雪に積極的に取り組み、冬期でも安全で快適な雪に強い道づくりを推進しております。

(1) 防雪・凍雪害防止事業

防雪・消融雪施設延長

H5. 4. 1 現在

種 別	箇 所	延 長
スノーシェッド	67	6,586.5m
スノーシェルター	28	3,568.5m
雪崩防止柵	52	6,483.2m
雪崩防止壁	27	4,775.8m
防 雪 柵	79	61,724.7m
消雪パイプ(車道)	25	18,034.6m
無 散 水(歩道)	18	9,911.4m
流 雪 溝	123	100,555.9m
チェーン着脱場	15	14,385.0㎡

(2) 除雪事業

(イ) 平成4年度除雪事業計画表

H4. 12. 1現在 (単位: km)

道路種別	道路 実延長	雪寒指定 延長	平成4年度除雪延長			道路実延長 に対する 除雪率	委託率
			公共	単独	計		
一般国道	727.6	736.6	664.5	0.0	664.5	91.3%	56.7%
主要地方道	1,063.7	1,061.2	959.6	10.2	969.8	91.2%	93.2%
一般県道	1,240.6	1,131.6	1,052.9	26.9	1,079.8	87.0%	90.7%
合計	3,031.9	2,929.4	2,677.0	37.1	2,714.1	89.5%	83.3%

・歩道除雪計画

・バス路線の除雪計画

道路種別	歩道除雪			自動車 交通可能 延長	バス路線 延長	除雪実施 延長	除雪率
	のべ延長	除雪延長	除雪率				
一般国道	413.3	158.8	38.4%	727.6	577.6	553.5	95.8%
主要地方道	282.2	131.2	46.5%	1,029.4	713.2	709.1	99.4%
一般県道	251.8	98.5	39.1%	1,213.1	651.7	649.3	99.6%
合計	947.3	388.5	41.0%	2,970.1	1,942.5	1,911.9	98.4%

(ロ) 除雪機械内訳表

H4. 12. 1現在

機械名	ロータリ 除雪車	除雪 トラック	除雪 グレーダ	除雪 ドーザ	小型 除雪車	凍結防止 剤散布機	合計
台数	48	24	66	46	27	15	226

流雪溝の利用状況



歩道消融雪施設（消雪パイプ）の利用状況



機械除雪（ロータリ除雪車による拡幅除雪）



歩道除雪後の通学状況

